



食べることは生きること

～食と農について考える～

3万年前の太古より、人類の「食」と「文化」を育んできた「農業」
農地の減少、担い手不足、地球温暖化、気候変動...危機が迫っている今。
だからこそ「農」に向き合おう、その声をきこう、声をあげていこう！

「百姓の百の声」上映会

2025.2.8(土)13:30-16:30 開場13:10

オープンバージョンフィールド多摩 国分寺館

(旧労政会館) 国分寺駅南口 徒歩5分 ※定員 90名

チケット 1,000円 (前売り 900円)

中学生・高校生 500円 小学生以下無料



上映後
映画監督を交えた
トークセッションあり！

～食べている限り、誰の隣にも「農」はある
なのにどうして「農」の世界は私たちから遠いのか。
今後経済が下向き、食料輸入に頼れなくなると予測される
日本で、いま必要とされる力はレジリエンシー（復元力）。
百姓たちには本来これは備わっている。映画に登場する
百姓たちは、小手先では解決しない様々な矛盾を、
独自の工夫で次々と克服していく。～
(映画パンフレットより)

主催：岩永やす代とにじいろなかま

国分寺・生活者ネットワーク／国立・生活者ネットワーク

✉ kita2@seikatsusha.net

